



キックスケーターの事故に注意!

幼児でも簡単に乗ることができて楽しいキックスケーター。けれど、キックスケーター走行中の追突・転倒事故が多発しているのをご存じですか？

キックスケーターにはさまざまな種類があり、ブレーキの無いものもあり大変危険です。最近では、日本国内で、大人がキックスケーター走行中に転倒し、頭部を打って死亡した事故もありました。

消費者庁では、近年増加するキックスケーター走行中の子どもの事故を受けて、子どもが使用する際の注意を下記のとおり呼び掛けています。



使用可能な場所かどうかを個別に確認し、必ずヘルメット、肘当て、膝当て等の防具を着用させ、保護者が立ち会い、子どもから目を離さないようにしましょう。

消費者庁ホームページより



いとうちゃん

道路交通法では、交通のひんぱんな道路において、ボール遊び・ローラー・スケートまたはこれらに類する行為をすることを禁止しており、ローラースケートと同じ扱いのキックスケーターでも違反行為となります。

「ふみきり」での安全行動を教えましょう

《 心配の声 》

子どもが遮断機に傘をひっかけたり寄りかかったり、電車が通過するまでふざけながら待っている子もいて危ないんです。



防ごう! ふみきり事故

警報機が鳴ったら ふみきり内に
入らない・渡らない・留まらない
 遮断機は
触らない・近づかない!

いつでもどこでも安全な行動ができるよう繰り返し教えましょう。



アゼリアン

サバーン

子どもが家族や知人の車にひかれる事故があとを絶ちません。子どもは知っている車を見つけると急に駆け寄ることがあるので十分注意してください。

